





第14回みちのく発信全国書道展を3月23日～25日の3日間盛岡市民ホール（マリオス）にて開催いたしました。一般・学生の公募点数は330点で昨年同様となりました。会場は例年岩手県民会館にて行っておりましたが、震災の影響で開催決定が遅れたため、会場変更を余儀なくされ、その結果、3月24日（土）の表彰式会場も県公会堂へと変わりました。

作品課題は、あえて震災を意識せず普段通りといたしました。環境を考える書道展として、幼い心に環境保護の意識を植え付け、未来に受け継がれて行くことを願っております。作品は子供たちを主体に、全国レベルのものが集まりました。ある教室では、締切半年前から100枚は書かせるそうです。表彰式の場で青森県からの席上揮毫をする生徒が壇上で書き始めると、いつもながら書く所作が様になっていると感じられてしかたが有りませんでした。無駄な動作が一つもなく、流れるように書いてゆくのです。ここまで鍛えあげられるには、どのような鍛練をしてきたのだろうと思います。また今回は大臣賞のプレゼンターを盛岡出身の民主党衆議院議員階猛（しなたけし）先生にお願いし、快く引き受けて頂きました。環境にちなむ講演会には、社団法人東北地域環境計画研究会伊達功理事にお願いをして、生物（虫）の多様性の話を講演して頂きました。子供たちの心の中にも環境を守る意識が芽生えたのではないかと思います。

また青森県の東天書道会様より、東日本大震災からの一日も早い復興が成し遂げられますようにとの願いを込めた、みちのく展上位受賞者（小学1年生～高校2年生）による表装作品20点が寄贈されました。岩手席書連盟は、青森県の子供さんたちの思いを岩手県民に伝えるべく、しかるべき展示場所が決まり次第、展示したいと考えております。